

海外安全対策情報（２０１９年１０月～１２月：コロンビア）

１ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１）全般

ボゴタ市，メデジン市，カリ市等の都市部を含め，窃盗・強盗の被害が昼夜を問わず多発している。

比較的治安が良い地域でも，飲食店内の置き引き，バイク利用強盗，夜間の路上強盗，警察官を偽装して金をだまし取る等，様々な手口の犯罪が見られる。

被害に遭わないためには，身の回りの物から目を離さない，怪しい人物に狙われていないか注意する等，常に警戒を怠らない心構えが必要である。

万が一，強盗に遭った場合は生命を第一に考え，絶対に抵抗してはいけない。

（２）邦人犯罪被害事案

- ・ １１月３日正午ころ，ボヤカ県トタ市の観光地プラヤ・ブランカの有料駐車場に乗用車を施錠して駐車し観光中に，車が開錠されており，金品が盗まれていた。
- ・ １１月６日午前０時ころ，SNS で知り合ったグループとボゴタ市内のバーで飲んでいたところ，途中で意識を失い，目が覚めたときには金品が盗まれていた。
- ・ １１月７日午後３時ころ，ボゴタ市のコンベンションセンター「コルフェリアス」のフードコートで食事中，椅子の下に置いていたカバンが盗まれた。
- ・ １２月２４日午後７時ころ，ボゴタ市の路上において配車アプリで手配した車両の位置情報をスマホで確認していたところ，背後からスマホを２０代の男にひったくられ，体当たりされて，男は直近で待機していたバイクの後部座席に乗って逃走した。
- ・ １２月２９日午後５時ころ，ボゴタ市でトランスミレニオに乗車する際，身に着けていたウエストポーチのベルトを背後から外され盗まれた。

２ テロ・爆弾事件発生状況・関連報道

E L N，F A R C 離反兵等の反政府武装組織の活動が活発な地域で，治安当局やインフラ施設に対するテロ事件が発生している。ボゴタ市では２０１７年６月，ショッピングセンター「アンディーノ」においてフランス人女性を含む３名が死亡する無差別テロ事件が発生しているほか，２０１９年１月にも市内の警察学校内でE L Nによる自動車爆弾テロで学生２２名が死亡するなど，今後もテロへの警戒は必要である。

- ・ １１月９日，ノルテ・デ・サントアンデル県ティブ市の国軍基地を狙った爆弾テロにより，兵士１名死亡，４名負傷。
- ・ １２月５日，カウカ県コリント市の国軍基地に対する FARC 離反兵の武装攻撃により，兵士１名負傷。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

E L N等の反政府武装組織や麻薬犯罪組織が、身代金目的の誘拐、恐喝、脅迫を行い、資金源としている。都市部では犯罪組織による偽装タクシーを使用した短時間誘拐の犯行もあることから、流しのタクシー（タクシーアプリ等で呼ぶ無線タクシーではない）は利用しない等の注意が必要である。